

## 奈良県立五條高等学校 平成 28 年度 学校運営協議会 定時制部会（第 1 回）

1 日 時 平成 28 年 10 月 26 日（水）18 時～21 時

2 場 所 奈良県立五條高等学校 校長室

3 参加者 （委 員）米田 正人、山本 肇一（校長）  
（事務局）住本裕一（定時制教頭）、堀口隆志（事務長）  
高谷伸也（定時制教務部長）、青谷良信（定時制生徒指導部長）

### 4 内 容

(1) 平成 28 年度オープンキャンパス「授業見学」（1 年 社会と情報、2 年保健、4 年数学活用）

(2) 平成 28 年度 2016 オープンキャンパス「全体会」（教育課程、生徒指導、施設見学 等）

(3) 挨拶及び委員・事務局員自己紹介

(4) 協議

・（報告）

オープンキャンパス実施状況について

・（質問・意見）

本年度参加者の中で過年度生はいるのか？

・（回答）

質疑相談の時に編入の相談があった。おそらく他高校の中途退学者と思われる。

・（報告）

「県立高等学校定時制・通信制課程の今後の在り方検討懇話会」について

県内定時制通信制各校の現状、課題等を県教委が聴取して、今後の適正な定時制通信制教育の在り方を考えていく会と認識している。第 1 回が 9 月末に行われ、次回は 11 月末を予定している。前回は各校より現状の報告があったところ。

・（質問・意見）

定時制で学ぶ生徒の質の変化は著しい。かつての勤労青少年の学びの場に加え、全日制高校にそぐわず中退した生徒、不登校経験者等が増加していると聞いている。今の生徒の実態に応じた教育課程となっているのか？

・（回答）

本校の生徒実態から 3 年修了制を選択する生徒が多い。他校の場合、高卒認定試験や大和中央高校通信制で取得した単位を認定して 3 年卒業させているが、教育課程内で 3 年卒業制を入れているのは本校だけである。全日制と教室や施設を共用している関係から、早い時間に授業をすることができにくい。本校では全日制の協力体制が整っているため 0 時限目が成立している。

また教育内容としては参加意識を高め、でるだけ成功体験を重ね、自己有用感を醸成できるよう実験等の工夫をしている。また、社会参加経験が乏しいことから、生徒会役員決めや校外学習の経路等は自分たちで考えさせ、今までの追従行動から主体的に意志決定する場面を作っているところ。

・（質問・意見）

3 年修了生徒が多いと 4 年生が在籍しない年度が出てくるがどうか？

・（回答）

ここ数年、3 年修了生徒が多く、4 年生がいない年度があった。現在のコース選択制から進級規定等による振り分け等も考えられるが、そうすると本来の定時制教育の主旨とはズレてくる。定時制は就学 4 年のところを 3 年卒業が選択できるということが、選択した生徒自身のメリットとなっていることをもっと明確に説明できるようにしないといけない。

・（質問・意見）

学外単位の認定や職場実習の単位取込等は考えているか？

・（回答）

通信制や工業系定時制での現場実習の単位化は行っていると聞いている。ただ本校の立地条件を考えた時に提携先企業等の数が確保できないことや卒業後の雇用に結びつかない等、問題は多いと考える。学年制を採っているので外部単位の認定にも限界がある。

- ・ (質問・意見)  
他県ではスポーツ選手の強化方法として昼間定時制を生かして成果を上げていると聞いている。
- ・ (回答)  
近畿でも野球、テニス等でそういう学校がある。ただし県高体連や高野連で加盟承認が必要となる。本県では私立定時制が県総体や国体県予選に参加しているが、高体連・高野連の全国大会予選は別である。  
通信制で夏の全国高校野球にも出場している学校も出てきている。通信制だけでなく定時制の在り方のひとつとして検討の範疇にあるのかとも思う。
- ・ (校長)  
本日は、示唆に富む内容の話となり、有意義な時間であった。今後とも五條高校の応援団として支えていただきたい。長時間の熱心な討議に感謝申し上げます。

(5) その他

- ・ 今後の予定について  
第2回学校運営協議会 3月までに開催予定

